

株主メモ

事業年度 / 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 / 6月

株主確定基準日 / 定時株主総会、期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 / 三井住友信託銀行株式会社

◎ 郵便物送付先および電話照会先

〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)

※ 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

(ご注意) お取扱いについて

①未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

②住所変更、単元未満株式の買取り・買増し、配当金受取り方法の指定等につきましては、口座を開設されているお取引証券会社にお申し出ください。ただし、証券会社に口座がないため特別口座が開設されている株主様につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

公告方法 / 電子公告(下記ホームページに掲載)

当社ホームページ / <https://www.seiren.com>

上場証券取引所 / 東京証券取引所プライム市場

証券コード / 3569

配当金のお受取り方法について

配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様には、便利で確実なお受取り方法として口座振込のご利用をお勧めいたします。お手続きにつきましては、証券会社に口座を開設されている株主様は、お取引の証券会社へ、証券会社に口座がないため特別口座が開設されている株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行へお問い合わせください。

セーレン株式会社 www.seiren.com

■ 福井本社 〒918-8560 福井県福井市毛矢1丁目10-1 / TEL:0776-35-2111 / FAX:0776-35-2114

■ 東京本社 〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1-1 / TEL:03-5411-3411 / FAX:03-5411-1524
(新青山ビル東館)

株主のみなさまへ

第152期 決算のご報告

— 2023年4月1日～2024年3月31日 —

01 トップメッセージ | 07 PICK UP トピック

03 事業概況 | 08 連結決算概要

05 トピックス | 09 株式情報

トップメッセージ

売上高・利益いずれも過去最高更新



代表取締役会長 兼 最高経営責任者 川田 建男

当連結会計年度における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変わり、経済社会活動の正常化の動きが見られたものの、緊迫した世界情勢、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦!」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、「イノベーションと顧客開発」及び「企業体質の再建」を

柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力等、非財務価値を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当連結会計年度の連結業績は、売上高1,419億15百万円(前連結会計年度比7.2%増)、営業利益140億68百万円(同9.6%増)、経常利益162億14百万円(同5.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益121億56百万円(同10.3%増)となりました。売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも過去最高を更新しました。

2024年6月

セーレン通信

桜の花に「夢」を託して ~本社工場跡地を「夢の共有の地」へ~

旧本社工場跡地(福井県福井市毛矢1-10-1)の緑地化工事が完了し、2024年4月19日には完成を記念した植樹式が開催されました。席上、川田会長は「セーレンは本年、創業135周年。そしてこの地に本社工場が建設されたのは1916年と108年もの歴史があり、父祖伝来の土地である。この場所を桜の木、花を通じて、セーレンの社員、家族、そして地域社会、株主様、すべての人にとって、夢が花開く、夢の共有の地にしたいと願っている」と述べ、出席者全員で祈念いたしました。



▲緑地全景



▲左より川田副社長、川田会長、山田社長によるモニュメント除幕の様子

カーボンニュートラルの実現に向けて 二日市事業所にバイオマスボイラーを新設

セーレンは、カーボンニュートラルの実現に向けた「Cゼロプロジェクト」の一環として、二日市事業所にバイオマスボイラーを新設しました。これにより、二日市事業所は年間、4,400トンCO₂を削減できます。バイオマスボイラー導入については2016年に勝山工場(福井県勝山市)で先行し、今回の二日市事業所は2機目。2026年には新田事業所(福井県福井市)にも導入を予定しております。

バイオマスボイラー以外では、2022年にTPF事業所(福井県坂井市)に太陽光発電設備を導入。その他事業所においても製造工程合理化、ロス・ムダの削減、省エネ設備の導入を進め、2030年CO₂削減量2013年度比46%達成を目指します。

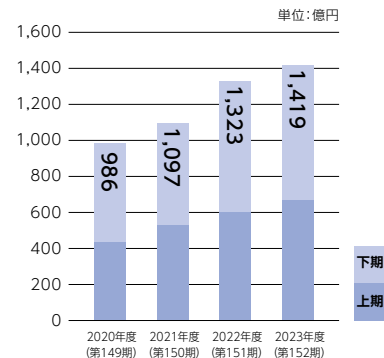
セーレンは今後も、環境の世紀をリードする真のグッドカンパニーをめざして、持続可能な社会の実現に向けた環境への取り組みを積極的に行ってまいります。



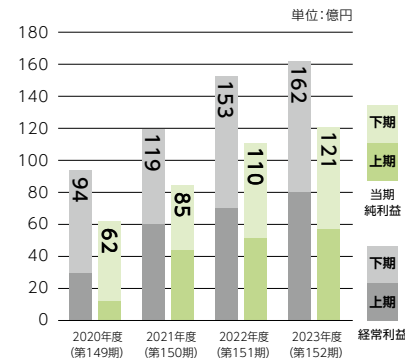
▲導入した、二日市事業所のバイオマスボイラー

第152期 連結財務・業績ハイライト

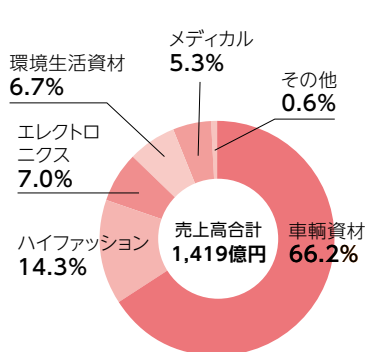
売上高の推移



経常利益および当期純利益の推移



セグメント別売上高の構成



事業概況

売上高 / 1,419億15百万円 (経常利益 / 162億14百万円)

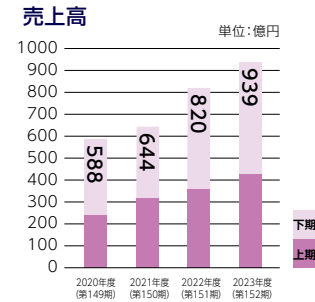
■ 車輻資材事業

受注増により、増収・増益

売上高 / 939億14百万円 (営業利益 / 107億7百万円)



国内事業は、世界的な半導体不足の緩和や前年の上海ロックダウンによるサプライチェーン混乱からの反動により回復しました。エネルギー及び原材料価格の高騰があったものの、為替の影響や業務の効率化をはじめとする経費削減活動により増収・増益となりました。海外事業(2023年1~12月)では、中国における日系メーカーの販売不振の影響を大きく受け、また、SEIREN Hungary Kft.では経費が先行しました。一方で、半導体不足や原材料価格・輸送費の高騰が落ち着き、カーシートやエアバッグの受注が増加するとともに、各拠点における品質改善や経費削減活動が功を奏し、増収・増益となりました。その結果、車輻資材事業全体では、増収・増益となりました。



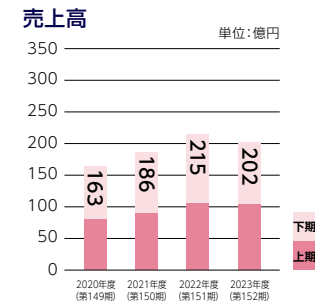
■ ハイファッション事業

タイ事業構造改善により、減収・増益

売上高 / 202億45百万円 (営業利益 / 9億97百万円)



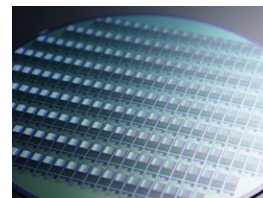
アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。ファッションアパレルは、一部百貨店ブランドにおいてコロナ禍からの回復が見られたものの、スポーツアパレル及びインナーアパレルはいずれも苦戦を強いられました。売上は減少したものの、Saha Seiren Co.,Ltd.においてアパレル事業の構造改善を行ったことにより、ハイファッション事業全体では減収・増益となりました。



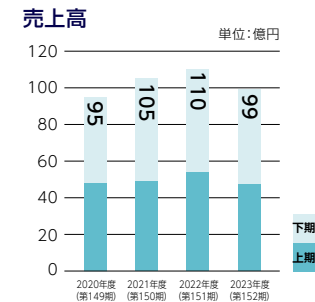
■ エレクトロニクス事業

受注減により、減収・減益

売上高 / 99億円 (営業利益 / 15億48百万円)



車載モニター用の新規商材が順調に推移したものの、モバイル端末向け商材の売上が減少しました。KBセーレン(株)においては、データセンター向けハードディスクドライブ用ワイピングクロス「ザヴィーナ®」やケーブル用エンブラ繊維が伸び悩みました。その他、セーレンKST(株)が客先の在庫調整の影響を受けたことや、中国市況の悪化により世聯電子(蘇州)有限公司で繊維産業向け機械の受注が減少したこと等から、エレクトロニクス事業全体では減収・減益となりました。



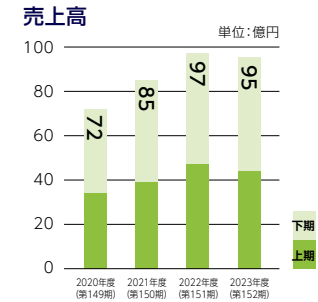
■ 環境・生活資材事業

住宅着工戸数減少の影響を受け、減収・減益

売上高 / 95億32百万円 (営業利益 / 9億45百万円)



ハウジング資材関連は環境対応商材が好調に推移したものの、住宅着工戸数減少の影響を受け苦戦しました。また、生活資材関連ではコロナ禍において一時的に需要が高まった病院・介護向け製品の売上が伸び悩みました。KBセーレン(株)においてはティーバッグ用途での「ベルカップル®」の需要の回復がみられたものの、環境・生活資材事業全体では減収・減益となりました。



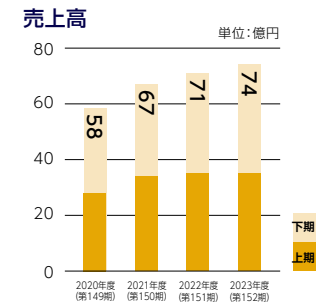
■ メディカル事業

原材料価格高騰の影響が大きく、減益

売上高 / 74億56百万円 (営業利益 / 8億86百万円)



サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移するとともに、KBセーレン(株)の海外向け逆浸透膜スパーサーの売上が増加し、増収となりました。利益面ではエネルギー及び原材料価格高騰の影響が大きく、減益となりました。

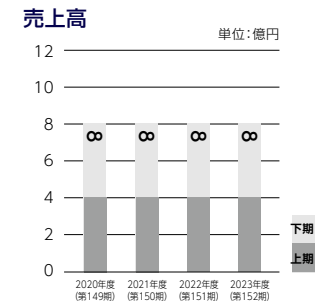


■ その他の事業

売上高 / 8億65百万円 (営業利益 / 4億65百万円)



(株)ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業が堅調に推移したものの、セーレン商事(株)の保険代理業が好調であった前年の反動減となりました。



セーレングループ トピックス

2023年 11月 祝 北陸新幹線 東京-敦賀間開業! 開業盛り上げに一役

北陸新幹線開業とふくい桜マラソンをPRしようと、「セーレンプラネット」も入る複合施設ハピリンの屋根付き広場に、ビスコテックスで製作・施工した大型広告幕(幅32.5m×高さ6.6m)が掲出されました。1枚からサイズの制限なく、多彩な表現ができるビスコテックスの強みを最大限活かした広告幕で、地域の盛り上げに貢献しました。(掲出期間 2023年11月30日~2024年3月31日)

また、2024年3月16日、東京-敦賀間で北陸新幹線が開業となり、JR福井駅の新幹線第1改札内にあるエスカレーター見附に、セーレンの電照看板を新たに掲出いたしました。在来線を継承したハピライン福井の改札前にもセーレンの電照広告を掲出しております。福井駅をご利用の際は、ぜひご覧ください。



▲北陸新幹線 5号車・6号車付近にあるエスカレーター見附



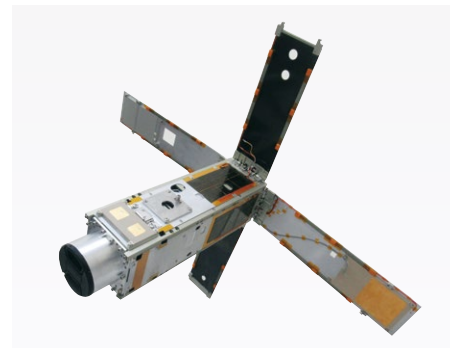
▲ビスコテックス大型広告幕が、北陸新幹線、桜マラソンの盛り上げに一役

2024年 2月 セーレンの宇宙事業史に残る大きな一歩 ~超小型人工衛星TIRSAT 軌道投入成功~

2024年2月17日9時22分、セーレンが開発した超小型人工衛星「TIRSAT」が、H3ロケット試験機2号機(H3TF2)に搭載され、種子島宇宙センターから打ち上げられました。

今回は、実績を積み上げてきた人工衛星の開発や設計、製造に加え、打ち上げ後の全体運用も行います。当社にとって初めての機会であり、超小型人工衛星の日本におけるハブを目指している当社にとって、宇宙事業史に残る大きな一歩となりました。

今秋には、セーレンが企画製造し、産官学での運用体制構築を目指す衛星の打ち上げも予定しています。セーレンは、人工衛星ビジネスにおいてトップランナーとなるべく、今後も宇宙事業に取り組んでまいります。



▲パドルを開いた状態のTIRSAT(モックアップ)

2024年 3月 セーレンインドネシア 10周年記念式典開催

セーレンインドネシアが稼働開始から10周年を迎え、2024年3月19日、記念式典が開催されました。同社は車輦内装材を中心とした繊維製品の企画開発、製造、販売を行っており、近年、インドネシアの市場の盛り上がりも追い風となり、売上を拡大しております。式典には、従業員やセーレン役員等、合計107名が参加し、記念すべき10周年を祝い、今後のさらなる発展を祈念いたしました。



▲写真後列左より4番目、川田副社長、その右に山田社長を囲んで記念撮影

2024年 3月 福井県初のフルマラソン大会を、地域一体となって盛り上げ

2024年3月31日、大規模都市型フルマラソン大会「ふくい桜マラソン」が開催されました。福井県での初のフルマラソン大会となった同大会には、1万1,912人が出場。セーレンは最上位ゴールドパートナーとして特別協賛し、スタートから5.4km地点の第1エイド(給水所)を運営。約140名のセーレングループ有志がボランティアとして参加し、ランナーのみなさまへの給水活動を行い、大会を盛り上げました。

セーレンは今後もスポーツ振興・地域貢献に取り組んでまいります。



▲セーレン有志による給水所運営の様子



PICK UP トピック

デオエスト®から ニオイを解決し、尿シミに対応した ボクサーブリーフを新発売

高性能消臭ブランド「デオエスト®」から、男性向けに少量の尿漏れ時の染み出しに対応した「消臭ボクサーブリーフ[シミガード]」が、4月15日、新発売いたしました。

排尿後やりきみなどによる少量の尿もれを日常的に経験されている方が多いことから、デオエスト®の消臭機能と繊維加工技術を組み合わせ、利用者様の要望に応える商品として開発しました。尿や汗のニオイを強力に消臭し、フロント部分の三層構造で尿の染み出しに対応しています。また、ご好評いただいている「消臭ボクサーブリーフ」と同様に綿素材の優しい肌触りによる快適な履き心地と、すっきりとしたスタイルを実現しています。

特長

- 尿のニオイも強力に消臭
- 抗菌機能で清潔さをキープ
- 撥水機能でシミをブロック*
- 肌面はコットンのやさしい肌触りと吸水性

*2mlまでの少量の尿もれ(排尿後尿滴下)に対応しています。またあらゆる条件下での染み出しを防ぐものではありません。(量に合った対策をお勧めします)



サイズ：M, L, LL
カラー：ブラック
価格：¥3,850(税込)



【お求めは】

- 公式オンラインショップ「デオエスト ストア」<https://store.seiren.com/deoest>
フリーダイヤル 0120-469-860(9:00~17:00 休日/土・日・祝)

スマートフォンからはこちら



デオエスト

2024年3月期 連結決算概要

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2023年3月31日	2024年3月31日
資産の部		
流動資産	101,068	117,083
固定資産	66,726	70,375
有形固定資産	54,167	55,334
無形固定資産	3,102	3,497
投資その他の資産	9,456	11,544
① 資産合計	167,795	187,458
負債の部		
流動負債	30,307	36,676
固定負債	31,701	26,092
② 負債合計	62,009	62,769
純資産の部		
株主資本	95,167	107,688
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,807	18,032
利益剰余金	75,669	85,359
自己株式	△ 14,830	△ 13,223
その他の包括利益累計額	9,341	15,953
新株予約権	567	502
非支配株主持分	709	544
③ 純資産合計	105,785	124,689
負債純資産合計	167,795	187,458

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

区分	前連結会計年度	当連結会計年度
	2022年4月1日~ 2023年3月31日	2023年4月1日~ 2024年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,943	13,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,614	△ 5,279
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,009	△ 7,048
現金及び現金同等物の期末残高	34,141	37,545

連結損益計算書(要旨)

単位:百万円

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2022年4月1日~ 2023年3月31日	2023年4月1日~ 2024年3月31日
売上高	132,364	141,915
売上原価	95,623	103,606
売上総利益	36,741	38,308
販売費及び一般管理費	23,910	24,240
営業利益	12,831	14,068
営業外収益	2,600	2,333
営業外費用	86	187
経常利益	15,345	16,214
特別利益	15	260
特別損失	402	57
税金等調整前当期純利益	14,957	16,417
法人税等	3,874	4,211
当期純利益	11,083	12,205
非支配株主に帰属する当期純利益	59	49
親会社株主に帰属する当期純利益	11,023	12,156

ポイント

① 資産合計

当連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して196億63百万円増加の1,874億58百万円となりました。流動資産は、現金及び預金や、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等により、前連結会計年度末と比較して160億14百万円の増加となりました。固定資産は、投資有価証券の増加に加え、設備投資や、海外子会社の財務諸表の換算レートが円安になったことにより有形固定資産が増加し、前連結会計年度末と比較して36億48百万円の増加となりました。

② 負債合計

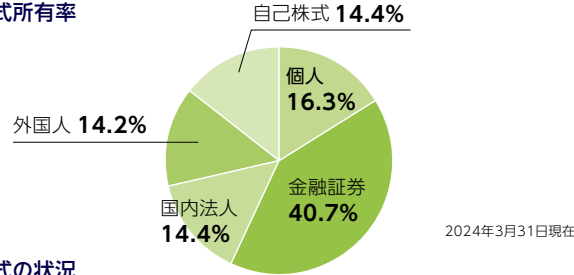
負債の部は、新株予約権付社債の転換や借入金が増加した一方で、支払手形及び買掛金や未払金が増加したことにより全体で7億59百万円増加し、627億69百万円となりました。

③ 純資産合計

純資産は、為替換算調整勘定の変動や、利益剰余金の増加などにより、全体で189億3百万円増加し、1,246億89百万円となりました。

株式情報

株式所有率



株式の状況

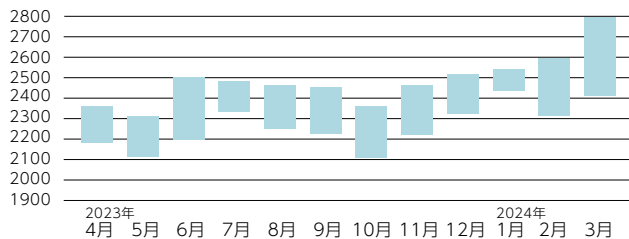
1. 会社の発行可能株式総数 160,000,000株
2. 発行済み株式の総数 64,633,646株
3. 株主数 5,843名

大株主

株主名	持株数(百株単位)	出資比率(%)
(株)日本カストディ銀行(信託口)	85,882	15.52
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	62,759	11.34
旭化成(株)	24,360	4.40
(株)北陸銀行	23,767	4.30
セーレン共栄会	19,863	3.59
日本生命保険(相)	15,058	2.72
第一生命保険(株)	14,690	2.66
東京海上日動火災保険(株)	11,307	2.04
久光製薬(株)	10,900	1.97
住友生命保険(相)	10,207	1.84

上記以外に、当社は自己株式(93,099)を保有しており、出資比率は自己株式を除いて算出しております。
持株数の単位は、100株(単元株)で表示しております。

株価の推移



※東京証券取引所における月別高値、安値を表示しております。

会社概要

会社のあらまし

社名 / セーレン株式会社
 創業 / 明治22年(1889年)
 設立 / 大正12年(1923年)
 資本金 / 175億2,025万円
 従業員 / 1,532名(単体) ※出向者を含み、嘱託・臨時工等は含まず
 6,718名(連結)

役員

代表取締役会長 最高経営責任者	川田 達 男	取締役	北 畑 隆 生
代表取締役 副会長執行役員	于 輝	取締役	佐々江 賢一郎
代表取締役 社長執行役員 経営執行責任者 技術責任者	山田 英 幸	取締役	小林 充 佳
代表取締役 副社長執行役員 戦略責任者 マーケティング責任者	川田 浩 司	取締役	橋野 知 子
取締役 専務執行役員 管理部門責任者	勝木 知 文	常勤監査役	吉田 博 昭
		監査役	牧田 博 行
		監査役	貝阿彌 誠
		監査役	高坂 敬 三

常務執行役員	竹 澤 康 則	執行役員	佐 藤 正 典
常務執行役員	寺 前 勝 基	執行役員	高 坂 貴 浩
上席執行役員	木 村 洋	執行役員	塩 見 秀 数
上席執行役員	福 田 正 一	執行役員	古 谷 祐 巳
上席執行役員	泉 朋 広	執行役員	川 邊 秀 典
執行役員	細 田 富 士 雄	執行役員	吉 田 浩 巳
執行役員	久 嶋 祐 司	執行役員	齋 藤 常 治
執行役員	鈴 木 基 之		

※取締役北畑隆生、佐々江賢一郎、小林充佳および橋野知子は社外取締役であります。
また、監査役員阿彌誠および高坂敬三は社外監査役であります。

2024年6月20日現在

セーレングループのネットワーク

■ 国内のセーレングループ

KBセーレン株式会社
 セーレン商事株式会社
 セーレン電子株式会社
 株式会社ナゴヤセーレン

グンセン株式会社
 セーレンケーピー株式会社
 セーレンアルマ株式会社
 株式会社デプロ

セーレンコスモ株式会社
 セーレンKST株式会社
 KBセーレン・DTY株式会社

■ 海外のセーレングループ・オフィス

北米

Seiren U.S.A. Corporation
 Seiren North America, LLC
 Seiren Design Center North America, LLC
 Seiren Viscotec Mexico S.A. de C.V.
 Detroit Office
 San Jose Office

南米

Seiren Produtos Automotivos Ltda.

ヨーロッパ

SEIREN Hungary Kft.
 Seiren EU (PARIS) Office

南アジア

SEIREN INDIA PRIVATE LIMITED
 Gurugram Office

東南アジア

Saha Seiren Co., Ltd.
 PT.SEIREN INDONESIA

東アジア

Seiren Suzhou Co., Ltd.
 (世聯汽車内飾(蘇州)有限公司)
 Seiren Electronics Co., Ltd.
 (世聯電子(蘇州)有限公司)
 Seiren Shanghai Co., Ltd.
 (世聯美仕生活用品(上海)有限公司)
 Seiren Hebei Co., Ltd.
 (世聯汽車内飾(河北)有限公司)
 Seiren Guangdong Co., Ltd.
 (広東世聯美仕汽車内飾有限公司)

